

[続]

古

古密教
彫像巡歴

佛

井上正

(京都国立博物館名誉館員)

著

知られざる
秘仏を
一挙公開!

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL:075-343-0458 FAX:075-371-0458
URL:<http://www.hozokan.co.jp>
E-MAIL:info@hozokan.co.jp



B5判・
上製カバー装・272頁
定価 9,975円(税込5%)

〔続〕古佛

古密教彫像巡歴

京都国立博物館名誉館員

井上 正 著



◆ 従来の仏教美術史研究で看過されてきた「霊木化現仏」や「感得仏」などの新たな視点によって日本列島に根付いた仏像を解き明かす。
 ◆ 一般的には公開されていない日本各地の秘仏を数多く収載。
 ◆ 様々な角度から撮影されたモノクロで重厚感あふれる三百点余りの貴重な写真満載。

美術史界における白眉の研究

井上正氏の行基仏についての研究は戦後の美術史界における白眉であると思ふ。奈良時代には木彫仏がなく、木彫仏は平安時代以降に造られ始めたというのが、かつて美術史界の通説であった。関西には行基仏と伝承される木彫仏が甚だ多い。それらの仏像は各寺で「行基作で平安時代の作」と表記されている。しかし長年にわたる綿密な調査の結果、行基仏と伝えられる仏像の多くはやはり行基あるいは行基集団の作であると井上氏は断定した。

私は井上氏とともに行基仏探究の旅をしたが、その行基仏たるものは、あの薬師寺本尊などの眉目秀麗な仏像とは異なり、デフォルメされたそれぞれ甚だ個性的な風貌をもつピカソぶりの仏像であり、どこか日本の伝統的な神の面影があった。

行基は道を造り、宿を造り、寺を造った。寺には仏像が必要である。その仏像を、当時日本にあつた鬱蒼たる森の木から造つたのは間違いない。このように行基仏を考えることによって、後の円空などによる木彫仏の伝統が理解されるのである。

梅原 猛



法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL:075-343-0458 FAX:075-371-0458

URL:<http://www.hozokan.co.jp> E-MAIL:info@hozokan.co.jp

〔著者略歴〕
 井上 正 (いのうえ ただし)
 昭和四年(一九二九)、長野県生まれ。
 京都国立博物館勤務、奈良大学教授、
 佛教大学教授、飯田市美術博物館館
 長などを経て、京都国立博物館名誉
 会員。著書に「古佛」(法藏館)、「7
 9世紀の美術」(岩波日本美術の流れ
 2) (岩波書店) など。

目次

- 序 怨霊世界の造形について
 一 神護寺薬師如来立像と
 神応寺伝行教律師坐像一
- 1 山口・正護寺薬師如来坐像
 - 2 京都・縁城寺千手観音立像
 - 3 鳥取・観音寺十一面観音立像(指定名称千手観音)
 - 4 福岡・浮嶽神社如来立像ほか二軀
 - 5 大阪・慶瑞寺菩薩形坐像
 - 6 奈良・西方寺如来形坐像
 - 7 大阪・孝恩寺十一面観音立像(伝観音菩薩)
 - 8 大阪・孝恩寺十一面観音立像(伝勢至菩薩)
 - 9 愛知・高田寺薬師如来坐像
 - 10 京都・宝菩提院菩薩半跏像
 - 11 長野・瑠璃寺薬師三尊像
 - 12 大阪・道明寺十一面観音立像
 - 13 奈良・法華寺十一面観音立像
 - 14 奈良・唐招提寺伝薬師如来立像
 - 15 京都・神護寺薬師如来立像
 - 16 兵庫・温泉寺十一面観音立像
 - 17 京都・醍醐寺聖観音立像
 - 18 岐阜・圓興寺聖観音立像
 - 19 大阪・釋恩寺十一面観音立像
 - 20 京都・金剛心院如来形立像(伝宝生如来)
 - 21 滋賀・保福寺釈迦如来坐像
 - 22 兵庫・中山寺十一面観音立像
 - 23 京都・平等院地藏菩薩立像
 - 24 福島・勝常寺薬師三尊像
 - 25 滋賀・神照寺千手観音立像
 - 26 奈良・慶田寺十一面観音立像
 - 27 愛媛・大宝寺阿弥陀・釈迦如来坐像
 - 28 兵庫・西谷観音堂十一面観音立像
 - 29 愛媛・庄薬師堂仏像群
 - 30 兵庫・達身寺仏像群
 - 31 京都・長光寺天部形立像

注文書	(書店印)	注文冊数	法藏館 定価 9,975円(税込5%)	ご住所 (郵便番号)
			井上正著 続古佛 —古密教彫像巡歴—	都・道・府・県 市・郡
	ご担当 様	冊	ISBN 978-4-8318-7649-2 C1071 ¥9500E	お電話 -
				お名前